

令和6年度第1回「弥富市地域公共交通活性化協議会」 議事録

日時：令和6年6月25日（火）

午後2時から

場所：弥富まちなか交流館3階市民ホール

○議 事

1.開会

事務局 (藤井課長)	<ul style="list-style-type: none">・ 定刻となった。ただいまから、令和6年度第1回弥富市地域公共交通活性化協議会を開催する。・ 本日の協議会は委員総数21名のうち、18名の出席をいただいております、協議会規約第9条第1項に定める半数以上の定数に達しているため、会議が成立していることを報告する。・ また、当協議会は協議会規約第9条第3項により、会議を公開とする。・ 協議会進行の改善や記録のため、今回の協議会からICレコーダーでの音声録音以外に、動画撮影をさせていただく。ご了承願いたい。
---------------	--

2.あいさつ

事務局 (藤井課長)	<ul style="list-style-type: none">・ 最初に、安藤市長よりご挨拶申し上げます。
安藤市長	<ul style="list-style-type: none">・ 本日は、令和6年度第1回目となる弥富市地域公共交通活性化協議会にご出席いただき感謝申し上げます。平素は本市の交通行政に関し、それぞれのお立場でご支援、ご協力をいただいていることに感謝申し上げます。・ 弥富市では6月議会の開会中である。明後日が閉会日となる。今回、一般質問で何人かから地域公共交通についていただいた。その多くは、実証実験をしたデマンド交通についてであった。市の方針としては、一旦は立ち止まって凍結して、南部ルートについては直行便を充実させ、大きくダイヤの再編をしながら、足りないときには他の交通手段で補完していく。また北部、東部ルートについてはデマンド交通のチョイソコで実験をしていきたいという答弁をさせていただいた。それに向けて、令和6年度はしっかりと地元を下りていきご説明申し上げ進めてまいりたい。皆様、今後ともご協力をお願い申し上げます。・ 本日もたくさんの審議事項、協議事項があるが、それぞれのお立場で忌憚のないご意見をお願い申し上げます。

3.資料確認

事務局 (藤井課長)	<ul style="list-style-type: none">・ 本日の会議資料の確認を事務局より願います。
事務局 (村上)	<ul style="list-style-type: none">・ 会議資料の確認をする。・ 事前にお送りした資料として、・ 資料1：弥富市地域公共交通活性化協議会委員名簿・ 資料2：令和5年度弥富市地域公共交通活性化協議会決算書

	<ul style="list-style-type: none"> ・資料3：令和7年度地域公共交通確保維持改善計画（案） ・資料4：無料お試し乗車券について ・資料6：公共交通網の再編について ・資料7：弥富市地域公共交通計画の見直しについて ・参考資料1：活発で良い議論ができる会議のために ・参考資料2：利用者実態調査結果 ・参考資料3：買い物支援サービス 令和5年度輸送実績 ・また、本日机の上に、 ・資料5：きんちゃんバスのダイヤ・ルート等の変更についての差替え版 ・弥富市地域公共交通活性化協議会規約 ・配席表 ・フラットファイルをお配りしている。 ・本年度より代わられた委員には委嘱状をお配りしている。 ・不足はないだろうか。 ・次第の日時が「令和5年」になっているが「令和6年6月25日である。訂正する。 ・これより座長の山崎委員に交代する。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指名に預かった公益財団法人豊田都市交通研究所の山崎である。交通の研究を専門にやっている。弥富市以外に、知立市、高浜市でもこのような委員会の会議の座長を務めている。弥富が一番古く、福祉バスからきんちゃんバスに変わったときからずっと関わらせていただいている。私にとっても愛着のあるバスである。 ・今日は議題がいくつかある。皆様のご協力をいただきたい。

4.議題

(1) 地域公共交通活性化協議会について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・参考資料1で愛知運輸支局より説明をお願いします。
渥美委員 (愛知県運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> ○参考資料1説明 ・資料「活発でよい議論ができる会議のために」を使って紹介する。第1回目ということで毎年紹介させていただいている。初めてこの会に参加される方もいると思うので、少しお時間をいただく。 ・この冊子は、数年前に学識の方の助言をいただき作り上げたものである。地域公共交通会議で議論がよりよいものとなるようにということで作成した。 ・2ページに書いているように、この会議は地域住民、交通事業者、行政など関係者が集まって、この地域にふさわしい公共交通を作り上げ、5年後、10年後もこの地域の公共交通が維持できるようにさまざまな対応を話し合っ決めていく場である。 ・3ページ、4ページ、この会議で議論が活発に、より実のある議論になるよう、会の参加者の方の役割を示したものである。住民代表のところに書いてあるとおり、いきなりこの場で発言するのは委縮されてしまう

	<p>ところもあるかと思うが、日ごろ気づいたことやわからないこと、公共交通をよくする取り組みなどを発言していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6 ページ、ここには注意する点も記載している。公共交通には、コミュニティバス、鉄道、路線バス、タクシーなどそれぞれ役割がある。それぞれの役割を踏まえながら、弥富市だけでなく、近隣の広域的な視点も踏まえて、地域に合った公共交通を実現するための議論をしていただきたい。 ・今日の議題にもあるが、公共交通計画を2年にわたって策定されていくということである。昨年4月に地域交通法が改正されている。今まで以上に地域の関係者が連携・協働、共創をして、利便性、持続可能性、生産性が向上するように交通ネットワークを再構築していくものである。そういった点を踏まえてご議論いただきたい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいまの説明についてはよろしいだろうか。 ・名簿の中に「市民及び利用者の代表」とある。どんなことでも結構なので発言していただきたい。私からも聞くことがあるかもしれない。よろしく願います。

4.議題

(2) 令和5年度収支決算について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の収支決算ということで、審議事項となる。 ・事務局から資料の説明をお願いする。
事務局 (村上)	<p>○資料2 説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度弥富市地域公共交通活性化協議会決算について資料2を基にご報告する。 ・1 ページ目の決算書について、款・項・目、流用後の予算額、決算額の順にご報告する。 ・歳入。 <ul style="list-style-type: none"> ・1 款、負担金、予算額、1 億 1,484 万 5 千円。決算額、1 億 974 万 9,785 円。 ・4 款、諸収入、1 項、預金利子、予算額、1,000 円。決算額、2 円。 ・2 項、雑入、予算額、456 万 4 千円。決算額、431 万 4 千円。 ・計、予算額、1 億 1,941 万円、決算額、1 億 1,406 万 3,787 円となる。 ・歳出 <ul style="list-style-type: none"> ・1 款、総務費、1 項、総務管理費、1 目、会議費、予算額、1 万円。決算額、0 円。 ・2 目、事務局費、予算額、4 万円、決算額、1 万 560 円。 ・2 項、諸費、予算額、451 万 4 千円、決算額、431 万 4,222 円。 ・2 款、事業費、1 項、事業推進費、1 目、事業推進費、予算額、1 億 1,334 万 5 千円、決算額、1 億 886 万 5,788 円。 ・2 目、広報公聴費、予算額、150 万円、決算額、87 万 3,217 円。 ・3 款、予備費、予算額、千円、決算額、0 円。 ・計、予算額、1 億 1,941 万円、決算額、1 億 1,406 万 3,787 円となる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細については備考欄を参照願いたい。 ・次に、コミュニティバス運行事業費について、資料2の2ページ、委託契約額9千738万3,700円、運賃収入等が505万1,010円で、契約額から運賃収入等を差引いた9,233万2,690円が事業費となっている。 ・また、次ページには、これまでの各年度のバス運行経費などについて整理している。 ・運行経費は、人件費等の上昇により増加傾向であった。 ・年間利用者数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で令和2年度に大きく減少したが、その後回復傾向にある。 ・収支率は令和2年度から増加傾向となっている。 ・利用者1人当たりの運行経費は、地域公共交通計画で目標に掲げている「1人当たり1,000円」には及んでいないが、新型コロナウイルス感染症拡大後では最も低くなっている。 ・以上で、説明を終わる。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいま報告いただいた内容に関しては、監事の永田区長会長代表に、6月1日に就任いただいて、6月3日に監査していただいた。忙しい中、申し訳なかった。
永田委員 (弥富市区長会)	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない状態で監事をさせていただいた。 ・監事より、監査結果について報告する。 ・弥富市地域公共交通活性化協議会事務局から提出された令和5年度弥富市地域公共交通活性化協議会収支決算について、諸帳簿及びその証拠書類を監査した結果、いずれも適正に執行され、決算額に誤りはないものと認められることを報告する。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・質疑に入りたい。
大島委員 (弥富市福寿会 連合会)	<ul style="list-style-type: none"> ・2点ある。監査報告だが、6月1日に委員になられた方が監査をされているが、5年度の件について、こういう形で監査していいのか。5年度、委員ではない方が監査するということはおかしいのではないのか。 ・2点目は、歳入で、4款2項、431万4,000円、歳出で、1款2項1、431万4,000円、同じ項目だが、出と入りが同じような金額というのは何を意味しているのか説明していただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・監事については、慣例で区長会の代表の方に行っていただいていたのでお願いしていた。今後内部で検討し、適任の方をお願いするようにする。 ・雑入で上がっている431万4,000円については、運行事業者に国庫補助金が入る。それを雑入に入れるという形での出入りをしているため、同じ金額がここに上がっている。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしいか。 ・ほかにご意見、ご質問があればお願いします。 ・令和5年度決算について、承認いただける方は挙手をお願いします。 (賛成者挙手) ・全員から挙手いただいた。承認いただいたこととする。

4.議題

(3) 令和7年度地域公共交通確保維持改善計画（案）について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none">・令和7年度地域公共交通確保維持改善計画（案）について、今年の10月から令和7年度が始まる。何をやっていくかという計画に関してご審議いただきたい。・事務局から資料の説明をお願いします。
事務局 (村上)	<p>○資料3説明</p> <ul style="list-style-type: none">・令和7年度地域公共交通確保維持改善計画案について、資料3を基にご説明する。昨年度からの修正部分は赤字で示している。・一定の要件を満たし、この「地域公共交通確保維持改善計画」に位置づけられた路線については、「地域公共交通確保維持改善事業」の運行補助を受けることが可能となる。・地域公共交通確保維持改善計画には、様々な添付様式・資料があるが、ここでは、地域公共交通確保維持改善計画のほか、資料末尾に表1として、弥富市内で運行する運行系統を一覧で整理したものを添付している。・運行系統は、きんちゃんバスの北部、南部、東部の3つのルートに対し、起点や経由地、終点の違いでより詳細に区分したものとなっており、全部で17系統が運行している。・なお、確保維持改善計画の計画年度は10月から翌年9月までを1ヵ年としている。・最初のページにお戻りいただきたい。計画の内容について説明する。・まず、「1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性」について、弥富市内の公共交通網は、飛島公共交通バス蟹江線が地域間幹線系統として、蟹江線に接続する東部ルートがフィーダー系統として国庫補助を受けて運行しており、きんちゃんバス全ルートが近鉄弥富駅で、北部ルート及び東部ルートは佐古木駅でも鉄道と接続している。・次に、計画の目的としては、平成28年3月に策定した「弥富市地域公共交通網形成計画」に基づき、まちづくり等の上位・関連計画と連携するとともに、地域特性や利用者特性に応じた継続的な改善を行い、使いやすく環境にもやさしい地域公共交通として確保・維持することを目的としている。・なお、「弥富市地域公共交通網形成計画」の基本理念を踏襲した「弥富市地域公共交通計画」を令和3年3月に新計画として策定しており、引き続き確保・維持に努めるものとしている。・計画の必要性については、利用者で最も多い高齢者などの交通弱者の交通手段確保として確保・維持していくことのほか、「弥富市地域公共交通計画」に基づき、今後も市内バス運行の改善・充実のため、ニーズに即したダイヤの見直し、隣接する自治体との連携等の検討を行い、あわせて地域公共交通確保維持事業により、鉄道や飛島公共交通バスなどの幹線に接続し、市民生活と地域を支えるフィーダー系統として確保・維持していくことが必要であるとしている。・次のページ、「2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果」として、「弥富市地域公共交通計画」における目標に基づき、令和8年度までの目標を①から⑤のとおり掲げている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・また、「事業の効果」としては、「弥富市地域公共交通計画」に基づく取組みの推進により、コミュニティバスの運行を維持することが可能となり、高齢者等の通院や買い物等の市民の日常生活に必要な移動手段が確保され、高齢者等の外出が促進される。また、市内鉄道との接続により、名古屋方面をはじめとした通勤・通学や買い物に対応する公共交通ネットワークを構築することができ、車に過度に依存しない社会の構築にも繋がるとしている。 ・次のページ、「3.2の目標を達するために行う事業及びその実施主体」については、「弥富市地域公共交通計画」に基づき事業を実施するものとしている。 ・次のページ、「4.地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者」について、現在の系統の概要や時刻、運行事業者の決定方法について記載している。 ・次に「5.地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者」は弥富市となっており、運行収入及び国庫補助金を運行経費から差し引いた差額分を負担することとしている。 ・「6.補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称」は、三重交通（株）である。 ・次に7～11について、弥富市は「該当なし」となっている。 ・次のページ、「12.地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要」についても所定の様式に従い別途整理しているが、ここでは説明を割愛させていただく。 ・また、13から19について、弥富市は「該当なし」となっている。 ・次のページ、「20.協議会の開催状況と主な議論」として、令和5年度の協議会開催状況と、今回の協議会開催について記載している。 ・次に「21.利用者等の意見の反映」については、協議会構成員に住民又は利用者の代表が参加していることや、弥富市地域公共交通活性化協議会の場で検討協議した結果を踏まえて本計画を策定している旨を記載している。 ・最後に「22.協議会メンバーの構成表」を記載している。 ・本計画については、現在も運輸支局と記載内容について調整を続けており、この会議の場では概ねの記載内容の確認と、今後、計画提出までの調整を事務局に一任していただきたく、ご審議をお願いする。 ・以上で、説明を終わる。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・説明のあった令和7年度地域公共交通確保維持改善計画案について、ご意見、ご質問があればお願いします。
大島委員 (弥富市福寿会 連合会)	<ul style="list-style-type: none"> ・2ページの目標③、1人当たりの運行経費が1,000円以下となっているが、今までの経過を見ていると1,000以下は難しいのではないかと感じる。80人ずつ増やしていくことはできないような気がする。1,200円などに変更することはできないのか。できない目標は意味がないと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・この計画を定めた段階で目標として可能であるという予測値のもとに立てさせていただいた金額になっている。この表は徐々に増加傾向にはあったので、このまま行けば10万人という目標値に到達し、設定したこ

	<p>の金額に到達していくという形で、計画に基づいて進めさせていただいた。コロナで大きく計画が狂ったところはあるが、決して不可能な数字ではないと思っている。</p>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> 資料2を見ると、令和5年度は1,229円であるが、平成29年は1,093円でかなりいいところまで来ている。そこまで戻ってもらうと何とか達成できるという数字である。あまり低い目標を設定するのもどうかという話もあると思う。事務局としてはコロナ前の計画の段階では達成できるだろうということでこのような目標にした。経費自体があがっているということもありますので、次の計画でその点も考慮して目標値を見直していただければと思う。 ほかにいかがか。
渥美委員 (愛知県運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> 補足する。補助金を得るためにはこの計画を申請いただき、認定を受けないといけない。大枠はよいが、細かい文言は提出までには修正が要る。 確保維持改善計画は7年度から、そもそも弥富市の地域公共交通計画の本体の別紙の形でこの計画があるという位置づけで申請いただくことになっている。その部分をご承知いただきたい。目標の話も本体の計画から持ってきているところである。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> よろしいだろうか。 これは幹線に接続しているフィーダー系統であるということで、補助金をいただくためのものである。
小林委員 (弥富市女性の会)	<ul style="list-style-type: none"> 接続というのは飛島のバスのことか。補助金はそれだけなのか。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> 近鉄への接続もある。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 弥富駅への接続と佐古木駅への接続も含めて、プラス飛島の幹線ルートに東部ルートが乗り入れて接続しているというパターンがフィーダー系統という形になる。
小林委員 (弥富市女性の会)	<ul style="list-style-type: none"> それに補助金が出るのか。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> そういう位置づけの路線ということである。
小林委員 (弥富市女性の会)	<ul style="list-style-type: none"> 余談だが、この前テレビで、茨城県のある町で複数のバスを1本化するという提案があった。これから10年に4小学校が合併する。そのときに通学バスを使うと4校のうち1校はその場所で、残りの3校にそれぞれ通学バスを出すとかなりの金額、3,000万ぐらいかかるのではないかと思う。きんちゃんバスのほかに、プラス3,000万も使うと予算的に乗ると思う。そういう感じのバスであれば補助金は出ないのか。
渥美委員 (愛知県運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> スクールバスとコミュニティバスはそれぞれで補助金がある。 これから関係者、いろいろな分野で連携・協働していかないと地域の足が確保できないという話がある中で、今スクールバスでやっているところをコミバスにするとか、いろいろな考え方はこれから皆さんで考えていただきたい。 現在の補助金の制度としては、国の補助制度であるが、幹線の補助と、その幹線につながるフィーダーの補助金しかない。

小林委員 (弥富市女性の会)	<ul style="list-style-type: none"> 令和10年に4校の小学校が合併する。通学バスを走らせるに当たり、きんちゃんバスに乗れるところは乗せてはどうか。これには補助金は出ないのだろうが、乗れるところは乗せてもよいのではないか。意見である。
安藤市長	<ul style="list-style-type: none"> 令和10年4月に南部ルートにある大藤小学校、栄南小学校、東部ルートにある十四山西部小学校と東部小学校の4つが1つになり、十四山西部小学校の位置に新たな学校を作る。西部小学校以外、東部小学校、大藤小学校栄南小学校については通学はスクールバスを使う。今公共交通に使っているお金と近いぐらいのお金がスクールバスには必要になってくる。できる限り双方向でいい関係ができるようにこれから研究していくが、スクールバスもきんちゃんバスも市民に利用していただければ一番いい。この協議会の場でも提案させていただきながらやっていきたい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通確保維持改善計画(案)について、文言の修正があるので、愛知運輸支局からご指導いただきながら修正して提出していく、事務局一任ということでご承認いただける方は挙手をお願いします。 (賛成者挙手) 全会一致でご承認いただいた。事務局のほうで手続きを進めていただきたい。

4.議題

(4) 無料お試し乗車券について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> 次は報告事項となる。毎年やっている無料お試し乗車券について、資料4の説明をお願いします。
事務局 (村上)	<p>○資料4説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用促進策として、無料お試し乗車券について資料4を基にご説明する。 これまで13回にわたり実施し、利用者増の効果が認められた無料お試し乗車券の配布について、今年度も実施する。 令和5年10月の運賃改定で小中学生の運賃が無料となり、無料お試し乗車券が無くても無料で乗車できる状況であるが、引き続き小中学生にも配布し続けることによって、親子・家族での継続的な利用機会の創出を促していきたいと考えている。よって配布対象は昨年度と同様に、市内全世帯に加え、小学生にも配布することを考えている。また、利用増の実績もある黎明高校にも配布対象とさせていただきたい。 また、利用可能期間については、夏休み期間のほか、7月21日から9月30日までの約2ヶ月の期間としたいと考えている。 2ページ目には過去13回の無料お試し乗車券の配布結果を整理している。 次の紙の表裏が今年度のデザイン案となる。おもて面は、新型コロナウイルスが2類感染症から5類感染症へ引き下げられ、外出がしやすくなったことを受け、家族で外出するイメージのデザインとし、うら面は簡単なアンケートを記載して、回答を無料乗車の利用条件としている。 アンケートの内容について、小中学生が無料お試し乗車券を使って乗車する必要がなくなったため、問1の選択肢から「小学生」「中学生」を削除したが、それ以外は昨年度と同じ内容である。

	<ul style="list-style-type: none"> ・また、市の公共交通施策をPRできる良い機会ですので、令和5年10月からの運賃改定や、令和5年4月からの市内在住高校生を対象とした運賃助成定期券交付事業についても案内している。 ・以上で、説明を終わる。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今の説明の中で、利用可能期間は、資料では7月20日からとなっているが、7月21日からか。終わりは3月か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・7月20日から9月30日までである。訂正する。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見、ご質問があればお願いします。7月から配布していく。以前にこの取り組みに関してはご承認いただいている。報告となる。 ・小学生は無料で乗れるが、全戸配布に加えて、小学校でも配り、ご家族の方に使っていただくということで利用していただくということである。 ・実際に普段運賃がかかっている高校生にこれを使って乗ってもらうというのがあると思うが、いかがか。
安藤市長	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の高校生は無料である。無料の通学定期を使って乗車いただいている。 ・愛知黎明高等学校は夏休み期間もあるということから、部活動等で学校へ行く交通手段としてぜひ使ってもらえればということで、全生徒に渡すのではなく、ある程度の枚数を学校にお渡しし、利用できる生徒に使っていただくということで無料乗車券を配らせていただきたいと思います。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・市内在住の高校生は申請すれば無料で乗れる定期を発行する。市外から黎明高校へ通う方に関してはお試し乗車券を配り、使っていただくということである。よろしいだろうか。 ・民生・児童委員の後藤委員は無料お試し乗車券を今まで見たり使ったりしたことはあるか。
後藤委員 (民生・児童委員協議会)	<ul style="list-style-type: none"> ・今日初めての参加なのでわからないが、疑問に思ったのは、いただいたのは何時に出るのか時刻表を一生懸命見たが、最近出された時刻表はいつなのか。実際に時刻表が貼っていないので、何時に移動したらいいのかとか、それがわかっていないと、いくら無料の乗車券をもらっても、場所もわからない。利用していないので、福祉センターまで行くとか、市役所に行くというのはわかるが、ほかに利用できる場所はどのくらいかわからない。時刻表がないと乗れない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻表については、昨今大きな改定を行っていない。全戸配布したのは2019年が最後になる。 ・この後の協議事項にもあるが、今年10月に大きくダイヤ、ルートの見直しを進めていく。それに合わせて全戸配布を進めていきたい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今あるものを取りに来ていただければ。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・予備はある。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・無料お試し条件を配ると同時に、時刻表と一緒に配れるとよい。今回は間に合わないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・10月1日に大きく変わるので、そこで全戸配布させていただきたい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・タイミングが合わない。 ・大事なことである。情報を提供しなければいけない。知ってもらうこと

	が大事である。
永田委員 (弥富市区長会)	・私も高齢者で無料のバス券を持っているが、1回も利用したことがない。無料券を配布すると、今まで利用したことがない人が過半数になると思うが、利用したことがない人から見ると、運用の実態というか、PRが十分行き届いていなくて、よくわかっていないから乗るのを避ける可能性がある。せっかく無料券を出すのであれば、市民にPRをしっかりとっていただけたほうがよいのではないか。
事務局	・地域のほうに細かな説明に上がっていないところもあった。令和6年度に各地域を回らせていただく。現状の公共交通について丁寧に説明してまいりたい。
米澤委員 (公募委員)	・子どもだけで乗ることも可能である。子どもたちだけでどこかに行くときにも乗れることを皆さん知っているのか。何かの行事があるときに、小学校の高学年になれば海南こどもの国などに気楽に行けるとよい。子どもたちだけでも気軽に行ける交通手段をPRしてはどうか。
事務局	・歴史民俗資料館が本庁舎の隣に移転した令和4年度に栄南地区の子ども会にお願いして、南部コミュニティセンターから無料乗車券を使って歴史民俗資料館へ見学に行ってもらった。利用するきっかけを今後も引き続き検討しながら、広く皆さんに使っていただけるような公共交通にしていきたい。
山崎議長	・券を配るだけでなく、それと合わせてイベントを打つことがあるとよい。来年は考えていただきたい。 ・弥富は市の職員が出前講座をやっているのか。ほかの町では、高齢者団体などにバスの乗り方や、時刻表を組んでこのように遊びに行けるとか、どこから乗るといいなどを出前講座でやっている。忙しいだろうか、検討するとよいのではないか。 ・バス運行事業者に協力していただき、学校で子どもたちにバスの乗り方教室を行ってはどうか。名鉄バスは車両を持ち込んで乗り方教室をやっている。バスの運転手の帽子をかぶって写真を撮ることもやっている。検討いただきたい。 ・弥富でも過年度に1度やったことがあった気がする。
事務局	・今年の春祭りでも三重交通に来てもらって行っている。
山崎議長	・高齢者の集まりでもそういうことがあるとよい。 ・無料で乗っていただける代わりにアンケートを書いていただくという形である。どれぐらいの方が乗ってもらったか集計していただきたい。

4.議題

(5) きんちゃんバスのダイヤ・ルート等の変更について

山崎議長	・きんちゃんバスのダイヤ・ルート等の変更について、審議事項となる。資料の説明をお願いします。
事務局 (村上)	○資料5説明 ・資料5の差し替え版を見ていただきたい。 ・変更箇所は6ページのバス停新旧全体図で若干変更点があったため、差し替えている。また、南部ルートの西末広といこいの里であるが、ダイヤに影響はないが、新しいルートを追加している。こちらが変更点となる。 ・住民からの要望や市内情勢の変化を踏まえ、バス停の新設・移設ならび

	<p>に廃止とバスルートの変更を予定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、バス停の新設・移設ならびに廃止とバスルートの変更により、昼間の運行所要時間が多少増え、近鉄急行便への接続と余裕を持った折り返し運行のため、朝夕の運行ダイヤも変更する。 ・ダイヤ・ルート等の変更は2024年10月1日から適用する予定である。 ・なお、変更にあたり関係者である蟹江警察署、道路管理者、三重交通、施設管理者、地元等と今年2月ごろから立会協議を行い、6月中旬までに調整済みとなっている。 ・各ルートの変更後のダイヤは2～5ページ、変更後のバス停の位置は6ページから示しているので説明は割愛させていただく。1ページ目の表内に示している各種変更の経緯や目的を説明する。 ・まず南部ルートについて、「海南病院入口」バス停の新設・ルートの追加について、海南病院が開いていない時間帯は、海南病院バス停に向かう必要が無く、運行をスムーズにするため「海南病院入口」バス停を新設する。 ・「西末広」バス停周辺のルートの変更について、西末広公民館でバスの旋回をしていたが、自治会からの要望により旋回せずに新たなルートで運行する。 ・「いこいの里」バス停周辺のルートの変更について、鍋田・いこいの里間を通るルートは従来幹線道路を通過して運行していたが、運行時間が短縮できるため、新たなルートで運行する。 ・「富浜緑地」バス停の新設、「川崎重工」バス停の移設とルートの変更について、現在、いこいの里から戻って川崎重工方面へ向かっているが、名古屋港ゴルフクラブまで抜ける道路ができており、運行の効率性向上するため、「川崎重工」バス停を移設し、ルートを変更する。その変更に合わせて、周辺の企業より設置要望があった「富浜緑地」バス停を設置する。 ・次に北部ルートについて、中村眼科周辺にある医療機関へのアクセス向上や運行の安全性確保を図るため、現行小笠原クリニックにあるバス停を、一本西側の道の中村眼科周辺へ移設し、バス停名を「三百島」に変更する。 ・また、佐古木地区の北側や楽平地区は高齢化も進み、現行の「佐古木駅」バス停や「又八」バス停まで1km以上歩かなければいけない住民がおり、あいち診療所おふくろにバス停を設置してほしいという強い要望があったため、「あいち診療所おふくろ」バス停を新設する。 ・「前ヶ平」バス停については、蟹江警察署が建て替えのため一時移転していた際に、「蟹江警察署」バス停を設置し、蟹江警察署の建て替えが完了後もバス停名を「前ヶ平」に変更して維持していた。その後、愛知自動車整備専門学校が移転してきたが、現在バス利用者は少ない状況である。バス路線を延長してバス停を設置した経緯から、地域に対しバス停の廃止・路線の短縮について意見を伺ったが、特に反対意見は無かったため、廃止することとした。 ・最後に東部ルートについて、「村瀬医院」と「すずきこどもクリニック」の間にバス停が無く、高齢者等が遠くのバス停まで行くことが難し
--	--

	<p>いと平島東地区の住民より強い設置要望があったため、「さくら動物病院」バス停を新設する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、午前は右回りが多く、午後は左回りが多いというように午前と午後でルートの子り方に偏りがあったため、その偏りをなくすことで利便性を向上させることや、飛島バスとの乗継のしやすさをさらに改善するため、右周りの1便だったものを、左回りに変更した。 ・今後10月からの変更に向けて運行事業者が試運転をし、ダイヤに1~2分の微調整はあるかもしれないが、内容に大きな変更はない。ご審議いただきたい。 ・また、本日の協議会后、経路変更につて、住民への周知・意見収集のため7月に1ヶ月程度パブリックコメントを実施したのちに、8月に予定している運賃料金部会でも協議する。 ・なお、今回の運賃料金部会は運賃の変更がないので、書面での開催を予定している。 ・以上で説明を終わる。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・南部ルート、東部ルートそれぞれにいくつか変更があった。1つ1つに関して、その変更経緯、目的をご説明いただいた。ご意見、ご質問があればお願いします。
米澤委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・南部ルートの海南病院入口にバス停を新設となっているが、海南病院が開いていない時間帯は海南病院バス停に向かう必要がない。それでスギ薬局に変えるということか。海南病院入口のバス停を新設置ということだと、もう1つ海南病院をどこかに作るのかと錯覚した。目的を見ると、海南病院に向かうのは無いから、海南病院は今まで中まで入っていたが、それを行かなくて、代わりにスギ薬局前にバス停を設けるという意味であれば、海南病院入口バス停新設という表現はおかしいのではないか。 ・海南病院が開いていない時間帯は何時ごろを想定しているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・スギ薬局のところにバス停を新たに設ける形である。もともと海南病院を建て替える前の状況ではスギ薬局前にあった。道路についてもバスが止まれる線形になっている。昔のバス停を復活させるイメージである。一旦廃止をしているため、新設という表現をしている。
米澤委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・海南病院入口新設ということであれば、スギ薬局海南店前としたほうがわかりやすいのではないか。 ・通常、病院を利用する人は午前中である。時間帯として午後は海南病院に行く人は少ない。その辺がわかりづらい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・2ページに書いているが、南部1便が海南病院の中まで入って巡回するのではなく、海南病院入口に停まる形になる。 ・南部2便も海南病院入口に停まる。
米澤委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・海南病院が開いていない時間帯は何時のことか。病院を利用する人は、受付が8時であるが、7時前から来ている人もいる。早く行かないと順番が遅くなる。開いていない時間というのは、昼からはほとんど診察はないが、午後も特定の人に行く。診察がある人もいる。今海南病院の中まで行っているが、それが無いということか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の8時前はまだ開いていない状況なので、基本的にはバスは通らない。夕方は海南病院はやっていないのでバスは通らない。日中は普通に

	動いている。
米澤委員 (公募委員)	・バス停新設というのはスギ薬局海南店という名前にならないか。
事務局	・名称については検討させていただく。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・説明がわかりにくかったということである。 ・海南病院の入口という名称はわかりにくいということである。検討いただくということである。 ・便によって止まるバス停、止まらないバス停があることを利用者にご理解いただくことが重要である。広報をしていただきたい。 ・ほかにはいかがか。よろしいだろうか。 ・運賃に関して変更はないが、運賃部会でも協議する必要がある。それらの手続きを踏んでいくということである。 ・いくつかの変更に関してご審議いただきたい。変更案について、ご指摘があった海南病院入口のバス停名に関してはもう少し検討することを前提にして、承認いただける方は挙手をお願いします。 (賛成者挙手) ・皆様から挙手いただいた。手続きを進めていただきたい。バス停の名称に関して検討いただきたい。バス停の止まる、止まらないことについては利用者に周知をお願いします。

4.議題

(6) 公共交通網の再編に向けて

山崎議長	・公共交通網の再編に向けて、報告事項である。資料6の説明をお願いします。
事務局 (村上)	<p>○資料6説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通網の再編に向けてについて、事前に配付した資料6を基にご説明する。 ・弥富市地域公共交通計画の位置づけに基づき、南部地域を中心に令和2年から計3回の社会実験運行を行いながら公共交通網の再編を検討してきた。 ・現在は南部地域での計3回の社会実験運行の結果や過去の住民意見交換会の結果等を踏まえ、事務局内で再編案を検討しているところである。 ・今後は事務局内で検討した再編案を協議会で協議していくことに加え、関係主体との調整や再編案の住民への説明等を実施し、再編に向けた具体的な検討を進めていく。 ・再編のテーマや今後の大まかなスケジュールは表に示しているとおりでありますが、今後の協議によって内容や実施時期等は変更する可能性がある。ご了承いただきたい。 ・令和5年度第4回協議会の資料1で示した「第3期社会実験運行の結果を踏まえた今後の展望」をもとに、南部ルートは運行する地域は「既存のきんちゃんバスの運行ルートの見直しによる再編」をテーマとする。 ・また、北部ルート・東部ルートが運行する地域は一体的な地域として捉え、「デマンド交通の導入を中心とした再編」をテーマとする。

	<ul style="list-style-type: none"> ・南部地域のスケジュールについて、令和7年10月の本格再編に向け、本格再編案の協議会内での検討や、自治会単位での住民説明会、協議会での最終案の審議を令和7年9月までに進める。令和7年10月の本格再編後は随時必要に応じて見直しを検討していく。 ・北部・東部地域については、令和7年10月からの社会実験の開始に向け、社会実験案の協議会内での検討や、自治会単位での住民説明会、協議会での社会実験最終案の審議を令和7年9月までに進める。また、デマンド交通を導入する社会実験を想定しているので、運行事業者の選定や各種社会実験に向けた準備も進めていく。 ・社会実験実施後は評価・分析を実施した後、協議会で本格再編の最終案を協議・審議し、令和8年10月から本格再編をする予定である。 ・市全体で見ると、令和7年10月に南部の本格再編と北部・東部の社会実験開始を同時に迎えることができるよう進めていく予定である。 ・以上で説明を終わる。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいまの説明について、今まで南部地域で3期にわたって実証運行を繰り返してきた。それを踏まえて、方針としては、冒頭に市長から話があったが、南部はルートを見直しして効率的な運行をしていく。北部、東部でデマンドの可能性を見出していくという方針ということである。それに基づいて大雑把なスケジュールが提示された。 ・ご意見、ご質問があればお願いします。いかがか。よろしいか。 ・これまで何度もこの場で議論してきたことだと思う。改めて取りまとめて報告していただいた。よろしいだろうか。 ・では、再編に向けたこれに従って事務局で進めていただきたい。

4.議題

(7) 弥富市地域公共交通計画の見直しについて

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・弥富市地域公共交通計画の見直しについて、協議事項である。ご審議はいただかないが、皆さんから意見をいただき、それを反映させて今後事務局で計画の見直しを実施していくことになる。 ・資料7の説明をお願いします。
事務局 (村上)	<p>○資料7説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弥富市地域公共交通計画の見直しについて、資料7を基にご説明する。 ・令和3年3月に策定した弥富市地域公共交通計画（現行計画）は令和7年3月に目標年次を迎えることを受け、今年度と来年度の2年間で現行計画の見直しを行う。 ・今年度は主に弥富市の現状整理と公共交通における課題の整理を行う。 ・現況整理について、具体的には、人口や施設の立地状況、公共交通の利用状況等のデータによる現況整理のほか、住民・きんちゃんバス利用者の利用状況や今後の利用意向等をアンケート調査と利用者乗降調査で把握する。 ・また、住民の意見をより詳細に把握するため、住民意見交換会を各ルートエリア（北部・東部・南部）で2回ずつ実施する。 ・次年度は今年度の現況・課題整理を踏まえ、具体的な施策・取組の検討

	<p>や各交通事業者の役割の検討を進め、令和8年3月に現行計画の改訂版を策定予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の協議会では、今年度実施するアンケートや利用者乗降調査、住民意見交換会の実施概要について説明する。 ・今年度実施するアンケート調査は大きく2つあり、住民アンケートと利用者アンケートである。 ・今回の協議会ではアンケートの設問について確認・協議させていただきたいと考えており、具体的な設問文や回答選択肢等は協議会后に事務局と座長の山崎先生と協議して決めていきたいと考えている。ご了承いただきたい。 ・まず住民アンケートについて、2ページをご覧いただきたい。調査項目と調査内容（案）を示している。 ・調査対象は市内在住15歳以上から無作為抽出した2000名で、調査期間は11月11日（月）～2024年11月25日（月）の2週間を予定している。 ・郵送による配布で、回収は郵送とWEBを予定している。 ・アンケートの内容は、基本的に現行計画策定時に実施した住民アンケートをベースとしており、今回の結果と前回の結果を比較できるようにしている。 ・また、近年の市内の公共交通施策を踏まえ、運賃改定やコミュニティバス運賃助成定期券交付事業などの運賃施策の認知度や、今後のきんちゃんバスの運行について、デマンド交通の導入意向も含めて確認したいと考えている。 ・令和5年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価では「お試し無料乗車券の配布により新規利用者の獲得につながったが、その後もバスを利用するといった行動変容につながっているかの検証に取り組まれることを期待します。」という意見を中部運輸支局よりいただいている。そこで、無料お試し乗車券をきっかけにきんちゃんバスを利用し始めた人の存在を把握できる設問も入れる予定である。 ・続いて、利用者アンケートについて、3ページをご覧いただきたい。調査項目と調査内容（案）を示している。 ・調査対象はきんちゃんバス南部・東部・北部ルートの利用者で、調査期間は9月16日（月）～2024年9月30日（月）の2週間を予定している。 ・統計的に有意な回収数として100通の回収が必要であるため、運行事業者の協力のもと、回収期間を延長することも想定している。 ・郵送による配布で、回収は郵送とWEBを予定している。 ・アンケートの内容は、利用しているバスルートや利用頻度、利用目的や利用年数などの利用状況をはじめ、きんちゃんバスを利用ようになったきっかけ、きんちゃんバスの満足度・重要度などを想定している。 ・また、住民アンケートと同様に、デマンド交通の導入意向も含めた今後のきんちゃんバスの運行に関する項目も入れる予定である。
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートについては以上である。 ・続いて、利用者乗降調査についてで、4ページをご覧ください。 ・利用者乗降調査とは、バス利用者がどこのバス停から乗って、どこのバス停で降りるかを把握する調査のことである。 ・直近3年間は実施していなかったが、現行計画策定時にも実施していた調査であり、今回現行計画の見直しや今後の公共交通網の再編の基礎資料とするために実施する。 ・調査対象はきんちゃんバス南部・東部・北部ルートの利用者で、調査期間は9月4日（水）～2024年9月11日（水）の1週間を予定している。 ・調査方法は、乗車時に運転手からのアンケートを手渡し配布し、降車時に回収箱に投函していただく。 ・また、過年度と同様に各調査項目に対して、回答シールを貼る形式で実施する。 ・本調査は回収率が非常に高く、令和2年度は100%であったため、今回も100%を目指して実施する。 ・調査項目は、利用バス停、年齢層、利用目的、乗り換えについてである。 ・利用者乗降調査については以上である。 ・続いて、住民意見交換会について、5ページをご覧ください。 ・各地域の日常的な移動や公共交通に関する問題点、今後の公共交通網の再編に向けた住民の意向を把握するために住民意見交換会を実施する。 ・弥富市を、きんちゃんバスの運行ルートエリアをもとに、南部地域、北部地域、東部地域の3地域に区分し、各地域2回ずつ開催する予定である。 ・内容は地域で基本的には同じであるが、公共交通の再編進度に違いがあるため、南部地域と北部・東部地域で内容を分ける予定である。 ・具体的には、第1回は公共交通の現状・課題について意見交換をすることでところまではどの地域も同じであるが、その後、南部地域では本格再編案に関する意見交換、北部・東部地域では社会実験案に関する意見交換を行う予定である。 ・第2回は、第1回の振り返り、住民アンケートの結果報告をすることでところまでは同じであるが、その後、南部地域では本格再編に関する意見交換、北部・東部地域では社会実験案に関する意見交換を行う予定である。 ・開催時期は、第1回は9月～11月、第2回は11月～1月を想定している。 ・住民意見交換会については以上となる。 ・アンケート調査や利用者乗降調査、住民意見交換会については本日の協議会での協議後、関係者と調整を進めるが、調整結果によっては内容が変更する可能性もあるのでご了承ください。
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・以上で資料7の説明を終わる。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいまの説明について、今日は特に計画見直しのための調査に関して説明があった。ご意見、ご質問があればお願いします。 ・確認だが、現在の計画の目標年次が令和7年3月とあるが、今年度末が目標か。8年か。1行目は「令和8年3月に目標年次を迎える」である。これと同時に現行計画の改定版が作成されるということである。今年度と来年度、2カ年弱かけて計画を改定する。 ・調査に関して、住民アンケート、利用者アンケート、現計画策定時にもこういった調査をやって現状の把握をしていった。どういう目的でやるかを一言書かれているが、計画の評価指標、満足度などもこの調査の中で評価していくということである。 ・調査実施は、住民アンケートは11月、利用者アンケートは9月から実施ということであるが、それまでの間、協議会の開催はない。調査内容に関して、こういうことも聞いたほうがいい、こんな調査をやったほうがいいという意見がある場合は事務局に直接寄せていただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・7月いっぱいまでにご意見をいただきたい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・7月中であれば検討の余地があるということであるので、ご意見があれば事務局にお寄せいただきたい。いただいた意見をすべて反映できるわけではない。事務局と私で検討し、進めていきたい。よろしいだろうか。

4.議題

(8) その他

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・議事のその他について、事務局からお願いします。
事務局 (村上)	<p>○参考資料2説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在のきんちゃんバスの利用状況、南部地域社会実験運行バスについて、参考資料2の利用者実態調査結果をご覧ください。 ・1ページ、年度別乗車人員の推移について、令和5年度は、全ルート計は令和4年度と比較し約5,400人増加し、7万9,237人となっている。 ・全体の利用者数は近年増加傾向が続いており、過去最大の令和元年の利用者数まで約4,000人まで近づいている。 ・2ページ、令和5年度は1日あたり平均乗車人員、1便あたり平均乗車人員ともに、全ルートにおいて令和4年度に比べて増加している。 ・次に、月別乗車人員の推移について、3ページをご覧ください。令和5年度の月別乗車人員の全ルート計について、令和6年3月は前年より利用者が少なくなっているが、それ以外の月は前年より利用者が多くなっている。 ・次にルート別の月別乗車人員の推移について、4ページの高齢者が多く買い物利用が中心の北部ルートでは対前年度比1.03。5ページの買い物や通勤・通学利用が多い南部ルートでは令和3年度以降継続して前年比が1を超えており、直近2年間は1.17となっている。また、南部ルートの令和5年度の年間利用者数は4万2,358人で、全体利用者の半数以上を占めている。6ページ、高齢者が多く公共施設利用が中心の東部ルートにおいては対前年度比1.19となっており、3ルートのうち一番の伸び率になっている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・以上で、参考資料2の説明を終わる。 <p>○参考資料3説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2点目として、移動支援事業の状況についてご報告する。 ・弥富市ささえあいセンター買い物支援サービス令和5年度輸送実績について、参考資料3をもとにご報告する。 ・この自家用有償旅客輸送実績報告書は、各年度分を翌年度5月末までに愛知運輸支局に提出することが定められており、今年5月に提出した報告書になる。 ・令和5年度の弥富市ささえあいセンター買い物支援サービスの輸送実績は、車両は、プリウスとシエンタの2台で、輸送人員は14名、運送回数は188回となっている。 ・運送の対価は30分あたり150円、運送以外の対価としての介助料は30分あたり200円となっており、運送部分の収入は13万8,000円となっている。 ・令和3年度から続いている自家用有償旅客輸送の福祉有償輸送であるが、今年度以降も昨年までの内容で事業を継続していく。よろしく願います。 ・参考資料3の説明を終わる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料5、南部ルートのおこいの里バス停について、変更させていただきたい内容がある。6ページで変更していくような形で線が書かれているが、先ほど皆様にご承認いただいたが、パンク等の事案が発生している道路の路面状況ということがあったため、道路管理者と運行事業者と協議する。また、この部分については運賃部会のほうでも併せて協議をさせていただき、ルートを変更せず、従来の路線のまま運行していく可能性もあるということをご了承いただきたい。 ・こちらの結果については次回の協議会で改めて報告する。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今のお話は具体的にどこの部分か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・6ページのピンク色のL字になっている部分が新たに路線になっている。鍋田集落から伊勢湾岸自動車道を南へ直進する形で路線が新たにピンク色で書かれているが、従来は鍋田集落から上がって伊勢湾岸自動車道の真下の道路を右折しながら通っておこいの里に入っていた。ルートの短縮を鑑み、そのまま南進するルートにしてはどうかということで運行事業者と話をさせていただいていた。 ・その路線を通った一般車両にパンク等の事案があった。改めて道路管理者と運行事業者を含め、協議をさせていただく。また運賃協議部会でもその旨ご説明し、協議を進めさせていただく。従来どおりの路線のまま運行する可能性をご理解いただきたい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・道路管理者、運行事業者との協議の結果、元のルートのままかもしれないということである。そのあたりは今日のメンバーの皆さんにご了承いただくということによろしいか。確定したら報告いただきたい。 ・議事は以上であるが、全体を通してご意見、ご質問があれば願います。

米澤委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> 参考資料2の中で乗車人員の推移があったが、8万人ぐらいであったが、右肩上がりになっている。2年、3年はコロナの影響で下がったが、増えている。令和5年は令和元年、平成30年ごろに戻ってきているのではないかと。 なぜ増えるのかと思ったが、高齢者は十四山総合福祉センターや薬局をよく利用している。見ていると、老人が活発に元気にやっている。きんちゃんバスによく乗っている。朝来て、ご飯を食べて、お風呂に入って、3時ごろ帰っていく人も何人かいる。こういう傾向は弥富の人口構成の中で老人のウエイトが増えてきていると感じる。悲観的なことではなく、こういう傾向を見ると今後も大いに利用すべきものであり、期待を持った。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 弥富市としても高齢化は上がってきている。きんちゃんバスは高齢者の方の利用が6~8割ぐらいルートによっては占めている。高齢者の方が少しでも外出していただくきっかけづくりになればと思う。 バスでは賄えない部分、バス停まで遠いとなると、デマンド交通についても皆さんにお試しをいただきながら、少しでも利便性が上がるような公共交通にしていきたいと思っている。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> 路線別に見ると南部ルートが過去最高で、コロナ前よりも増加している利用者数になっている。 ご意見をいただいたように、高齢者に使ってもらっているし、南部ルートは高校生も使っている。高校生に対しては施策も打っている。そういう可能性があるということだと思う。 次の計画を考えていくに当たっては、ぜひ実態をきちんと把握し、次の手を打っていく計画にしていきたい。南部ルートはこれだけ増えているとなると、下手なことをして逆に利用者が少なくなると元も子もない。 よろしいだろうか。議事は以上となる。事務局に進行をお返す。
5. 閉会	
事務局 (藤井課長)	<ul style="list-style-type: none"> 以上で、第1回弥富市地域公共交通活性化協議会を終わる。 次回の協議会は秋ごろを予定しているが、具体的な日時等については後日連絡させていただく。 今後ともご協力賜りますようお願い申し上げます。
	以上